

=====
2014.7.28

NPO 法人東京高次脳機能障害協議会(TKK) — http://www.brain-tkk.com/

T | K | K | メ | ル | マ | ガ | vol.28
.....



～目次～

【1】TKK活動

【2】関連団体の活動

【3】行政等の活動

【4】特集:この1年の活動を振り返って(TKK加盟団体)

- ①高次脳機能障害家族の会江戸川「つつじの会」
 - ②いきいき高次脳機能障害者の会「東京レインボウ倶楽部」
 - ③高次脳機能障害者自主グループ「コージーズ Kozy's」
-

-----∞
【1】TKK活動

* *

-----∞
<政策提言・要望活動>

●東京都病院経営本部へ、平成25年度要望を26年3月4日に提出。
3月26日(水)午前、都庁第1庁舎29階にて面談、出席者は以下の通り。
東京都病院経営本部側:5名。TKK側:6名(理事長、理事3名、会員2名)。

===面談の冒頭、経営本部より、「TKKが東京都に提出した要望書はこちらにも回ってきているので、内容は承知しています。」との発言があり、口答での内容は東京都の回答とほぼ同じでした。===(細見/理事長)

●東京都医師会へも、平成25年度要望書をH26年3月4日に提出。
面談は次年度26年5月21日(水)午後、東京都医師会会館仮事務所(東京都千代田区一ツ橋)で行われました。
東京都医師会側:2人(理事/精神神経科医、事務局課長)。TKK側:3名(理事長、理事2名)

====東京都医師会への要望は、東京都病院経営本部と同じ日に提出しましたが、面談は翌年度でした。

理事より、「当会の会員は、都内のクリニックや病院勤務の医師など(都内の医師全員が会員では無い)です。私自身も、都の高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会の委員をしていますので、TKKの要望は耳にしています。しかしながら、東京都医師会は、会員である医師達に対し、TKKの要望項目を実行させたり、受け入れさせたり指示出来る立場ではないのです。」と、明言されました。それ故、事務局課長からは「回答を書面にするまでありませんので、ご了承ください。」との言葉でした。残念な結果となりました。====(細見/理事長)

<TKK理事会・総会>

6月15日(日) 調布市市民プラザあくろす2F会議室

●2014年度第1回理事会

●2014年度総会

2013年度の事業報告及び決算報告、2014年度の事業計画及び事業予算の他、役員(理事、監事)は原案通り重任することが承認され、役職として理事長に細見みゑ、副理事長に今井雅子、蔵方律子、小澤京子が承認されました。(総会議事録については当会ホームページの「当会からのお知らせ」を参照)

<2014年度 TKK主催:実践的アプローチ講習会(全3回)>

東京慈恵会医科大学西新橋校1号館講堂

●第1回 5月18日(日)、○第2回8月24日(日)、○第3回12月7日(日)、

各回のプログラム、申込み期間や方法などの詳細については、以下のサイトでご確認ください。

TKK 情報専用サイト <http://www7b.biglobe.ne.jp/~brain-link/tkk.html>

TKK ホームページ http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=100

お問い合わせは、東京高次脳機能障害協議会事務局03-3408-3798へ

<医療及び家族相談交流会>

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=91

●第1回2014年6月22日(日)慈恵医大附属第3病院

○第2回7月20日(日)東京都心身障害者福祉センター ○第3回9月28日(日)慈恵医大附属第3病院

○第4回10月12日(日)東京都心身障害者福祉センター ○第5回11月9日(日)慈恵医大附属第3病院

○第6回1月18日(日)慈恵医大附属第3病院

○第7回2月22日(日)東京都心身障害者福祉センター

○第8回3月22日(日)慈恵医大附属第3病院

時間:いずれも13:30~16:30 定員:各回とも相談件数4件以内 費用:無料

申込先電話:090-1734-5114、Email:kurakata@brain-tkk.com (いずれも担当は:蔵方)

<高次脳機能障害者と家族のためのピアサポート研修会(全3回)>

アステラス・スターライトパートナー助成、各回とも、慈恵医大附属第3病院

TKK相談支援事業に係る相談員や加盟団体代表、関係者を対象とする、TKK相談支援スキルアップ研修。各回とも内容は、高次脳機能障害について専門家や支援者による講義及び渡邊修医師による事例検討形式で実施。

●第1回 6月22日(日)

①「障害者総合支援法および介護保険制度について」

中村哲治氏(東京都心身障害者センター 高次脳機能障害者支援担当)

②「事例から高次脳機能障害について学ぶ-①」

渡邊修氏(東京慈恵会医科大学教授、附属第3病院リハビリテーション科診療部長/医師)

====①の中村哲治氏の講義では、平成25年4月に施行された障害者総合支援法においては、これまでの「障害程度区分」が「障害支援区分」と変更されたことを受け、その判定の仕組みを講義の中心にし、詳細かつ分かり易く講義して頂きました。又、当日配布された資料は今後のTKKの相談支援事業に役立つ内容となっており、まさにこの時期に相応しい内容でした。

②の渡邊修氏の講義では、個々の事例に対しての適切な対応を考えながら進めてくださいました。相談支援に携わる者として大変に勉強になり非常に貴重な研修会となりました。====(細見/理事長)

○第2回目は9月28日(日)、第3回目2015年1月18日(日) 予定。

【2】関連団体の活動

* *

●被害者家族相談員、医療ソーシャルワーカー向け講演会(主催:交通事故被害者家族ネットワーク)
交通事故による高次脳機能障害患者の具体的な救済援助と法律上の手続きなどについて
6月28日(土) 午後、東京シティアターミナル

====交通事故による脳外傷が原因で高次脳機能障害になった場合、突然のことなので、その認定や解決方法を家族は知らず、また治療に専心するあまり、時効寸前などということ少なくありません。医学的かつ法律性が非常に高い専門分野です。それ故、相談現場において、適切なサポートとは何かを支援者に理解してもらうため、講演会の前半は、古田兼裕弁護士に実例や判例の紹介を交えた講義を伺いました。来場なさった皆様にとっても、今後大変役立つ内容であったと思います。

講演会の後半は、実例として、私が講演させて頂きました。内容は、我が家の場合の生還への道のり、脳外傷による様々な後遺症として、高次脳機能障害に加えて身体障害、そして刑事裁判と民事裁判の体験や、TKKの事業活動を紹介致しました。====(細見/理事長)

●第23 回ドリームサロン (主催:調布ドリーム)

7月19日(土) 高次脳機能障がい者活動センター 調布ドリーム

講演「海外4ヶ国の脳損傷事情」田辺和子氏(脳損傷・高次脳機能障害「サークルエコー」共同代表)

==== 田辺氏は「海外4ヶ国の脳損傷事情」の前段で、ご自分の息子さんでご苦労なさった体験談、また地域住民のパワーで助けられているお話が聴けたことで、海外4ヶ国の脳損傷事情のお話も更に有意義になりました。お蔭で第2部では、ドリームの当事者21名がしっかりと自己紹介をしてくれ成長を感じました。

==== (吉岡/調布ドリーム施設長)

○サークルエコー15周年記念公開シンポジウム 「脳に障害を負った人と家族の今、そしてこれから」

10月19日(日) 10:20(受付開始)~16:20 調布市文化会館たづくり大会議室 参加費:無料

・「サークルエコー15年のあゆみと高次脳機能障害者支援の変遷」 田辺和子 (サークルエコー共同代表)

・「低酸素脳症のリハビリテーション」 渡邊修氏 (東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科教授)

・「当事者との24時間の関わりから見てきた可能性と課題」

山河正裕氏 (豊中きらら福祉会「工房羅針盤」施設長 (コメンテーター) 赤塚光子氏 (当会顧問)

申込:7月1日受付開始、Email:echo15sympo@gmail.com

【3】行政等の活動

* *

●ナスバ「交通事故被害者団体 意見交換会」、主催:独立行政法人自動車事故対策機構 NASVA(ナスバ)
6月25日(水)午後、NASVA東京主管支所

出席者:交通事故被害者団体及び関係団体の代表(全国遷延性意識障害家族の会、日本脳外傷友の会、東京高次脳機能障害協議会(TKK)、交通事故被害者家族ネットワーク、猫のひげ、りんく、調布ドリーム、わかば、千葉高次脳機能障害者と家族の会、東葛菜の花、全国犯罪被害者の会、北海道交通事故被害者家族の会、等々)

==== 自賠償保険に立脚する自動車事故対策の専門機関として、被害者援護業務を行ってきたナスバと、自動車事故被害者団体代表の方々との直接の話し合いは、今回が初めてでした。ナスバ東京主管支所幹部の業務説明から始まりましたが、意見交換会に入ると、ナスバ運営に関する業務改善や拡充、現在、政府に貸与している6,000億円相当の運用益の活用について、被害者ニーズに適った支援策・援護の拡充策などの要望や質問、意見等々で熱のこもった会議になりました。ナスバは、ただ運用益を守るだけの機関であってはならないはず、ナスバ安定のためにも、被害者救済数量を増やし、主たる目的のための新事業を積極的に展開すべきと思うのですが、現体制を維持するだけのように入れ、焦燥感を感じざるを得ませんでした。====(細見/理事長)

●平成26年度東京都福祉サービス第三者評価「評価者フォローアップ研修会(専門コース)

6月26日(木)、飯田橋セントラルプラザ、主催:東京都福祉保健財団

テーマ:【障害者福祉サービスの現状を学ぶ】福祉サービス利用者に聞く～高次脳機能障害～

==== この研修会には、毎年講師としてお招きいただいており、今年も高次脳機能障害者に対する福祉サービスの実態についてお話して来ました。東京都における福祉サービス第三者評価とは、利用する方がサービスを選択する際の目安としたり、都民の方々が事業所の内容を把握することが可能となるように、それらに対する評価結果を公表サイト「とうきょう福祉ナビゲーション」に掲載している所だそうです。今回の受講が初めての第三評価初任者100人に対して「高次脳機能障害の言葉を知っておられる方は？」と問うと、半数余りが挙手なさいました。数年前、初めて講師として伺った頃は7人程度でしたので、だいぶ当障害についての理解が浸透してきているように実感致しました。====(細見/理事長)

*「とうきょう福祉ナビゲーション」<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/hyoka/hyokatop.htm>

●第15回高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会

7月2日(水)、東京都心身障害者福祉センター

議題:(1)東京の支援拠点である東京都心身障害者福祉センター、及び関係団体からの平成25年度の活動報告と26年度の活動方針等の報告。(2)「障害者自立支援法における障害程度区分」から「障害者総合支援法における障害支援区分への変更」についての説明。(3)その他として、精神科へ通院のための自立支援医療診断書と精神保健福祉手帳のための診断書の記載についての説明や、TKK主催「平成25年度 医療及び家族相談交流会」報告、など。

参加委員:渡邊 修先生を座長に学識経験者、医療機関、関係団体、精神・教育・就労・福祉機関、区市町村関係者、当事者団体としてTKKの計13名。欠席2名

事務局:東京都心身障害者福祉センター及び都福祉保健局障害者施策推進部精神保健医療課など約15人。

オブザーバー:都福祉保健局医療政策部医療政策課の2名

==== ◇専門的リハビリテーション充実事業や区市町村支援促進事業の実施、各地域の連絡会設置など、

支援ネットワーク構築はかなり進んできており、東京での進捗状況に感謝しています。しかし、未だ、空白地帯が何カ所も存在するのも事実であり、これら地域への実施を早急に進めていただくことを願っています。また TKK が平成23年度に要望することによって実現した「社会生活評価プログラム」が好評で、順調に利用者を増やしているとのこと嬉しき限りです。この事業が、高次脳機能障害者支援技術の東京モデルとして、東京都の地域のみならず、全国に波及することを願っています。◇ 障害支援区分への変更については、知的、精神障害について適切に判定されるよう見直されましたが、しかし、高次脳機能障害者の特性を理解した上で医師意見書が作成され、その内容が如何に正確に支援区分に反映されるかは不安です。また、家族がいない当事者の支援区分判定の際には、とかく「大丈夫」と言いがちな当事者自身が課題の解消につなげられるのか、おおいに疑問であり、その解決には地域の支援者の理解が大きく影響するのは必須であると考えられますので、ここもまた大きな不安材料です。なお、TKK から副理事3名が傍聴しました。 = = = = (細見/理事長)

○ 港区 平成26年度高次脳機能障害理解促進事業 全4回【区民2回+支援者2回】(TKK への委託事業)
各回とも、港区高輪区民センター 1階集会室(港区高輪 1-16-25 高輪コミュニティーぷらざ内)

【区民向け】

第1回: 講演会 & 相談会 9月14日(日) 13:30~16:30

- ・講演会①「高次脳機能障害者およびご家族のための地域支援」片桐伯真氏(聖隷三方原病院リハビリテーション科医師)、②「高次脳機能障害者に対する自動車運転支援」片桐伯真氏、③「高次脳機能障害者支援～居場所づくり～」池田敦子氏(NPO 法人 VIVID 代表理事)
- ・医療および家族相談会

第2回: 講演会 & 相談会 平成27年2月8日(日) 13:30~16:30

- ・講演会①「高次脳機能障害が疑わしいときにすること」渡邊 修氏(東京慈恵会医科大学教授、附属第3病院リハビリテーション科診療部長) ②「高次脳機能障害者の思い・家族の思い」講師: 当事者・その家族
- ・医療および家族相談会

【支援者向け】

第1回(基礎編) 10月22日(水)18:30~20:30

- ・講義「高次脳機能障害の基本を確認しよう」渡邊修氏、
- ・質疑応答及びネットワーク連絡会

第2回(応用編) 11月19日(水)18:30~20:30

- ・講義「高次脳機能障害 社会的行動障害への対応」渡邊修氏、
- ・質疑応答及びネットワーク連絡会

【4】特集:この1年の活動を振り返って

ここでは、TKK 加盟の25団体(平成25年7月現在)のうち3団体ずつを順次ご紹介しています。

(vol.25, vol.26, vol.27 の掲載団体は HP メルマガバックナンバーでご覧いただけます)

高次脳機能障害家族会江戸川「つつじの会」 代表:後 関 春 美

「江戸川つつじの会」の新たな取り組み

家族会ができて3年、20代の若者から70代の昔の若者と幅広い年齢層の家族の会です。

6月は、なぎさ和楽苑(介護老人福祉施設)の若年性認知症の家族会と交流しました。当事者と家族に分かれ意見・情報交換し、当事者の作業状況を見たり、一緒に参加しました。

11月には、「高次脳機能障害の基礎知識」というテーマで長谷川幹先生に講演いただきました。

地域社会の方々や地域で活動している民生委員の方にも声をかけ、参加していただき有意義な講演となりました。

長谷川先生には、奥様の脳梗塞から失語を発症なさった経緯やその後の少しずつでも上をめざしてリハビリすることが効果的など、高次脳機能障害についてのとても役に立つお話をさせていただきました。その後の、質疑応答も時間がすぎてまでも行われました。

12月は、障害を持ちながら劇団でお芝居をしている梅津幸輝さんと同じ劇団の方にも来ていただき、演劇への取り組みや、台詞はどのように覚えるのかなど話していただきました。梅津さんは10月に「最後の太郎」に出演されました。演技も体調によるようですが、無理をせず、できることからできていることをやっているそうです。

いろいろな立場の方々の意見や話が聞けてとても勉強になった1年でした。家族会でもあせらずゆっくりとできることから、できることをやっといこうと気持ちを新たにしました。

いきいき高次脳機能障害者の会 「東京レインボウ倶楽部」 代表：飯野 葉子

東京レインボウ倶楽部は調布市において、中途障害による高次脳機能障害者の社会的能力を高め、利用者及びその家族がいきいきとした、より良い実生活と地域生活を送る事を第一の目的とし、平成16年11月に立ち上げました。

利用者が色々なプログラムを試みて、現在は卓球が主な活動となっています。また、年一回行われている調布市の福祉まつりに参加、障害者手帳を利用し都内の美術館へ出掛けたりしています。そして、医療顧問をして下さっている渡邊先生との年2、3回現況報告や相談を兼ね会食など、レクレーションも楽しんでいます。

東京レインボウ倶楽部は、今年で10年になります。この10年に様々な事がありました。マンションの清掃作業を試みたり、活動中に痙攣発作を起こした利用者が居たりしましたが、これらの経験を元に、作業所に通う人、就労に結び付いた人、数人ではありませんが、新たな生活を始めた利用者がいます。

これからも、東京レインボウ倶楽部の活動は変わらないと思いますが、今後とも宜しくお願い致します。運動不足の方、東京レインボウ倶楽部へお越し下さい、一緒に卓球をして体を動かし楽しみましょう。

活動日 …… 毎週火曜日と金曜日

活動場所 …… 調布市総合福祉センター

東京都多摩障害者スポーツセンター

高次脳機能障害者自主グループ「コージーズ Kozy's」 担当：植田 祐二

『コージーズ』は、高次脳機能障害を持つ方と支援者の自主グループです。高次脳機能障害に関する情報発信の活動をしています。年に一度夏の夜のひと時に、ビッグイベント「エテ・マルシェ」を企画運営しています。「エテ・マルシェ」は、「たくさんの方に、この障害のことを知って頂きたい」と始めたイベントで今年13回目を数えます。

「まさか自分が障害者になるとは・・・」と人生途中で障害者になられた皆さんの多くが、そう話します。実際、受傷した苦しみや悲しみ、憤りを乗り越えて、新しい暮らしのスタイルを改めて作っていかねばなりません。私たちの活動を通して、「絶望」や、「生きる不安」に向きあう姿と出会う。またその反対に「希望」や、「あきらめない前向きな力」に出会う。悲しいことばかりではなく、胸が高鳴りが満ち溢れた場面にも出会います。そんな物語や映画のような日常が続きます。「エテ・マルシェ」は「障害」と向き合いながら、コミュニティで共に生きることに、触れてもらえる空間をつくります。居酒屋のご主人が出店する「Beer&ココワインコーナー」「つまみや」、寿司職人さんが技を繰り出す「包丁研ぎ屋」、ミュージシャンや当事者の「パフォーマンスライブ」、「大樹森珈琲店」などそれぞれの得意なことを発揮した「ちっちゃなお店」がみなさんをお招きします。今年は、8月30日(土)16:00~20:00 ケアセンターふらっとにて、開催いたします。

以上